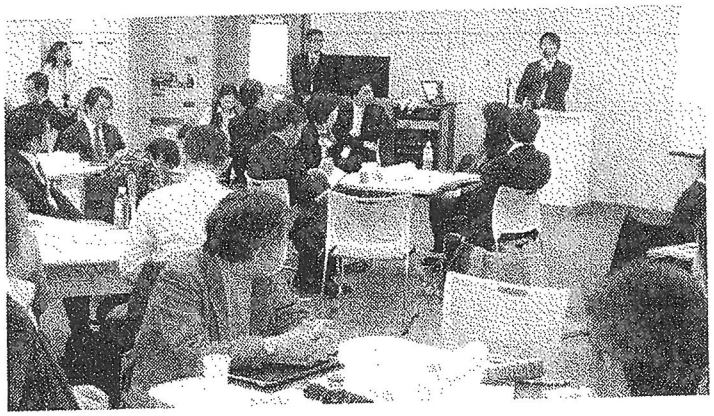
Business & Technology
（第3種郵便物認可）

快適生活へ 新サービス検証

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

東京〝二コタマ〟住民対象

異業種交流組織「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム（CCC）」は年内に東京・二子玉川で、情報感度の高い住民らを対象に二つの市場検証プロジェクトを立ち上げる。スマートフォンを使い、個人の嗜好に合わせた複数サービスの連携を検証。また既婚女性がどんな商品に視線を注ぐかを科学的に計測し、興味の度合いなどを解析する。職住近接型の新産業の育成につなげていく。



CCCは地元住民との交流会やワークショップの開催に力を入れる

スマホ活用 好みや利用実態 解析

CCCは富士通や日建設計（東京都千代田区）、三菱総合研究所、東急急行電鉄など約80の会員で構成。年内に携帯電話で買い物クーポンや健康管理情報の提供を一元管理する「モバイルワレット」、感性の分析を通じて消費行動を探る「二コタマダムランキング」という二つのプロジェクトを実施する。

モバイルワレットプロジェクトは、大日本印刷などが10月から実施する計画。スマホでの電子決済を軸に、情報サービスなどを試行。消費者の受け入れ度、利用実態、価格ニーズといったデータを収集し、快適な生活を支える新サービスの開発につなげる。例えば、筋肉質な体になることを目指してフィットネスクラブに通う男性にはたんぱく質が豊富な「ささみ」料理の店舗情報を提供。サービスの利用を誘導するための仕組みを構築する。

二コタマダムランキングプロジェクトは、夏目綜合研究所（同江戸川区）やGMOリサーチ（同渋谷区）など数社が参加する。公募する既婚女性モニター10人に化粧品や車、映画予告などを見てもらい、目がどこを向いているか、顔の表情がどう変化するかなどを計測。年内にもスタートし、感性反応を数値化することで商品開発や広告展開に生かす考えだ。

生活者視点のビジネス創造

副会長 松島 克守氏（東大名誉教授）

東急田園都市線・大井町線二子玉川駅（東京都世田谷区）周辺地域の再開発を機に組織化したCCCが設立3周年を迎えた。副会長の松島克守東京大学名誉教授は「10あるプロジェクトなどを通じて、世界に発信できるクリエーティブ産業を育成したい」と強調する。（山中久仁昭）

―クリエーティブ産業の定義とは。

「利便性が高いデザインや質の高いサービス、健康・安全で環境と共生できるライフスタイルなどを提供する新しい産業を指す。二子玉川エリアには情報感度の高い住民が多く、生活者の視点に立つ新しいビジネスの種を獲得しやすいと思う」

―再開発が完了する2015年には楽天の本社移転で約8000人の社員が移ってくる計画があります。取引事業者も足を向けると思われます。

「新産業の育成には追い風だ。これまで例がない職住近接の街が形成されることが期待され、多業種で構成されるCCCの役割が高まるのではないか。各種プロジェクトの展開の話か、起業家への支援活動や、地元住民との交流イベントの開催にも力を入れたい」

類荷ール出ビ 5社、2カ月ぶり減

8月 新ジャンルは好調

ビール大手5社が11日発表した8月のビール類の545万2000ケースにとどまった。一方、低価格で人気のある第3のビール大手5社、前年同

込んだ。キリンも「一番搾り」がマイナスだった。サントリーの「ザ・プレミアムモルツ」は同4・5%増の157万ケース。サッポロも「エビスビール」がプラスとなった。

アサヒは発泡酒「スタイルフリー」や第3のビール「クリアアサヒプライムリッチ」が大きく伸びた。キリンも第3のビール「澄みきり」が好調。業務用の樽生ビールは猛暑を受けて各社とも伸長した。

東 YKK AP 専用内窓発売

あっという間にオフィスビルを断熱化。YKK APは外窓の内側に追加するだけで断熱効果を向上できるビル専用の内窓（写真）を12日に発売する。ビルを二重窓化することで、改修前より電気使用量を最大40%削減できる。従来の外窓を改修するために必要な足場を組まずに済む。内窓は1時間以内で設置が可能。既存ビルの省エネルギー化が求められる中で築年数が浅いビルに提案する。2014年度に4億円の受注を目指す。

内窓「ゴミュー」はアルミサッ